



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2022.7～2023.6]



本年度 役員・理事

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

3 3 4 複合地区スローガン

「^{かん}咸じて臨む 変革の能動者たらん」

3 3 4 -C地区スローガン

「足元を固め 原点回帰 “We Serve”」

磐田ライオンズクラブ

スローガン

「地域と共に、地域に目を向け、地域から発信する奉仕活動へ」

努力目標

「地域の話題で、魅力あるアクティビティを、全員参加で楽しもう」

2022 7

会長挨拶

2022年7月から1年間、磐田ライオンズクラブ会長をお預かりする、江間 清です。磐田ライオンズクラブ65年の歴史を背中に背負う大役は、皆様のご協力が不可欠です。ご指導いただき、次に繋いでいきたいと考えております。次の世代を担う方々に要職を引き受けて戴きました。メンバーの皆様のご指導をお願いするものです。

さて、ライオンズ活動の原点は、“We Serve 私たちは 奉仕する”です。汗をかいてアクティビティを通じ地域の皆様に働きかけていくことが大切だと思いますが、コロナ感染拡大の渦中では活動も思うに任せず、集まること自体ができない状況が続き、WEB会議が導入され、組織の維持がなされました。他方では、メンバーの皆様は誰しもが社会活動の制限下で、苦しい企業経営に挑戦していたのです。ライオンズという組織と、自分の会社組織との両面で、2つの組織の維持に苦慮してきたわけで、いわば、ダブルパンチの状況をかき分けて来たのでした。

徐々にですが、出口が見え始めても来ました。そこでは、原点回帰、リセットした思考がそこかしこで始まっています。まじめに、こつこつだけでは、社会のニーズに出くわせない。市場ニーズを取り込むのか、奉仕の分野でも工夫を迫られていると感じます。暫くはコロナ、新種のコロナと、再びの行動制限が課せられることの覚悟が要るはずですが。ライオンズ活動でも柔軟に対応する局面は、同じであると考えます。変遷する社会の流れに、ライオンズが追従していけるようにメンバー間の情報共有を重ねて、ライオンズ活動を楽しみましょう。

「地域と共に、地域に目を向け、地域から発信する奉仕活動へ」をスローガンと、いたしました。皆様、宜しくお願いします。



会 長
L. 江間 清

コロナ禍の約2年半、それでも我々は模索しながら活動を続けてきました。完全な終息はまだ難しいものの、社会全体が少しずつ動き始めた今、私達も徐々に活動を活発化していくべき時だと思っています。

この2年間は、良くも悪くも世の中の常識や価値観等、様々な変化があり、コロナ終息後も、それらは全く元通りにはならないでしょう。社会が何を求め、その中で我々に何が出来るのかを考え実行していく事が必要です。新しい事を始める時、休止していたアクティビティを再開する時や加速していく時は、大きなエネルギーが必要です。この間、会員の出入りも少なからずありました。決して、楽な事ばかりではないと思います。でも、仲間と一緒にやるからこそ、得られるものも沢山あると思います。“We Serve”の精神の基、皆さんが共に奉仕活動を通じて、仕事とはまた別の「やりがい」や「感動」を感じられるよう、共にはたらく一年にしたいと思います。

ご協力を宜しくお願い申し上げます。



幹 事
L. 村松由季子

江間 清会長より、早い時期から今年度の理事役員の中に入って、1年間活動して欲しいというお話は頂いておりましたが、まさか三役の会計という大役を仰せつかるとは思っていませんでした。これも自分の仕事が予定通りには行かず、突発的に入ってきてしまうため、ライオンズの仕事が滞ってしまうことがない様にと会長が配慮の上に検討してくださった事なのですが、前年度はL. 山内盾夫であった役職、この大役にただ緊張しております。

別段会計の事に明るい訳でもなくお引き受けしている分、何かと不行届の点があるかと心配は尽きませんが、明るく優秀な事務局の伊藤さんの指示のもとに何とか1年間の責務を全うして参ります。コロナウイルスを完全に消滅することは難しいでしょうが、状況に合わせ適切な感染予防対策をして皆さまと元気に奉仕の活動に取り組みたいと思っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。



会 計
L. 松田智照

L. 加藤克巳の急逝を受け、第一副会長をさせていただくことになりました。第二副会長も、幹事も経験のない私ですが、江間会長を支え、精一杯頑張りたいと思っています。L. 加藤の急逝は痛恨の極みでした。同時に「出来る時に、出来ることを引き受けないといけない」とも感じました。「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」ガンジーの言葉を胸に頑張ります。ただ不知案内です。会員の皆さまのご指導、ご鞭撻をお願い致します。



第一副会長
L. 座光寺 明

2014年10月に入会し、7年目になります。入会後は色々な委員会の委員長を務めてまいりましたが、第二副会長としての役職はより責任を感じています。事業委員会の担当副委員長として、スローガン・努力目標である「地域と共に」、「魅力あるアクティビティを全員参加で」を実現できるよう努めてまいります。また、ライオンズクラブのあり方、運営等についての理解を深める年にしたいと考えております。会員・役員の皆様、事務局のご協力、ご指導を宜しくお願いします。



第二副会長
L. 河原崎 誠



ライオン・テマ―
L. 伊藤 慎弥

ライオンズ活動で定期的に行われている例会・理事会。例会ではメンバーが多く集まり、顔を合わせながら会を大いに楽しみます。理事会では、会の中核を担う重要事項が話し合われます。これらの会が円滑に行われれば、ライオンズ活動全体も円滑に行う事が出来、奉仕の心が磐田を照らします。テマ―として例会・理事会の準備設営を行い、磐田ライオンズクラブの下支えをする役割として、副テマ―L. 小粥と共に、肅々と任務に取り組んでいきたいと思ひます。



テール・ツイスター
L. 鈴木富二夫

今年度はテールツイスターを務めさせて頂く事になりました。自分に出来るか大変不安ですが、事務局の伊藤さんの協力をお願いしながら小岸 薫ライオンと力を合わせて例会を楽しく行っていききたいと思ひます。会員の皆様には色々なお話をよろしくお願いしします。そしてドネーションも重ねてよろしくお願い致します。



会員出席委員長
L. 戸塚 邦彦

コロナ禍で薄れつつあるメンバーのきずなを、今一度強化を図るとともに退会者を出さない為、メンバー一人ひとりの考えを紹介する「メンバーきずな通信（仮称）」を発信し、メンバー同士をより深く理解することにより、個々のきずなの強化を図ってまいります。また、会員増強にあたっては、奉仕の為に入会するという「目的意識」の浸透を図った上で入会依頼を推進し、当委員会の基、各委員会委員長を中心にメンバー全員で、増強に努めて行きたいと思ひますので、ご協力をお願いします。厳しくも楽しい活動をしたいと思ひますので、よろしくおねがいします。



会則接待諮問委員長
L. 寺田 克元

今年度、会則接待諮問委員長を仰せつかった寺田です。我が委員会は、まず会長が例会等、会の運営がスムーズに進行する様にゲスト等来賓を歓迎接待に努めたいと思っております。又、理事会等により、何らかの諮問事項があった場合は、メンバーに納得のいく説明をし、会則の変更等の依頼が有れば、ライオンズ必携を基本に提案していききたいと思ひます。最近では、メンバー構成も若返って来ましたので自分も含めライオンズの基本に戻り、色々と勉強をしていききたいと思ひます。1年間よろしくお願いしします。



財務LCIF委員長
L. 青島 邦信

今年度、財務LCIF委員長を拝命することになりました青島邦信です。初めての委員長ですので何かとご迷惑をお掛けすると思ひますが皆様にご指導頂きながら出来ることをやっていききたいと思ひます。皆様方のご指導・ご協力を宜しくおねがいします。先ずはLCIF献金にご協力よろしくお願い申し上げます。



大会計画委員長
L. 乗松千代子

早いもので、ライオンズクラブに入会して10年経ち、今年度大会計画委員長を拝命いたしました。ここ数年振り回された新型コロナウイルス感染症も、いよいよ収束に向かっていると信じて、夏の家族会、クリスマス研修会、さよなら例会を企画します。会員の皆様に喜んでいただける、楽しい例会になるよう、メンバー全員で力を合わせて取り組みますのでどうぞよろしくお願いいたします。



献眼献腎献血委員長
L. 齋藤 滋子

コロナ以降、世の中は変化してきています。我々の活動においても、伝統は守りつつ、新しい風を取り入れ、楽しく活動する事も必要かもしれません。献血、献眼登録活動は、駐車場や天候も考慮し、アピタと静岡産業大学で行うことで、より多くの方々に呼び掛けていけるのではないかと考えます。また、糖尿病予防のための活動として、ジュピロマラソン参加を目標に、自身の健康を考え、皆と運動する機会を作るという企画も考えています。ヘアドネーションも引き続き受け付けますので、ご協力、どうぞ宜しくおねがいいたします。



環境福祉委員長
L. 村松 正規

今年度環境福祉委員長を拝命する事になりました村松正規です。環境福祉委員長は、1年ぶり2回目となるので余り心配はしていなかったのですが、江間会長よりSDGsに付いてもやってほしいとの事で、大変心配しています。とは言え環境福祉委員会のメインと言えばやはり「草刈・花壇植替え」となりますので、会員皆様のご協力が無ければ成り立ちません。ライオンズパーク維持のためにも、ご協力をお願いします。



青少年YCEクエスト委員長
L. 村松 正浩

3回目の青少年YCEクエスト委員長なので、年間の流れが判るようになってきたかな…と思ひきや、新事業の到来です。せっかくですので会員の皆さんが楽しく、やりがいがある良い事業だと感じてもらえるように、青少年YCEクエスト委員会メンバー全員で知恵を絞って新しい事業を作り上げていききたいと思ひます。

アクティビティ・例会より



青年リーダー育成ボランティア講座開講式 5月2日(月)

CN 60 周年事業から始まったレオクラブ設立検討プロジェクトで高校生奉仕団体を支援しています。今年は募集を4月に前倒し、18名の新入会員を迎え5月に入会式を行いました。コロナのせいで前年度事業開催が遅くなり、新旧の会員協働で小学生への奉仕活動や磐田市をPRするイラスト展示会などを行いました。7月に総会を開催し、新会長も選出されて新しい年度活動が始まっています。

レオクラブ設立検討プロジェクト L.村松正浩



さよなら例会 6月16日(木)

今年のさよなら例会は、コロナ感染防止を考慮しラトリエ・ドゥ・マリエの庭にてバイキング形式で開催され、お楽しみは、「大道芸人しゅん」君のパフォーマンスでした。しゅん君は磐田市在住で現在17歳の高校生。4歳の時から大道芸に目覚め、小学6年生からデビューし、現在プロの大道芸人として全国のイベントで活躍しています。メンバー全員彼のパフォーマンスに一喜一憂し、またバランス芸では固唾をのんで見守る場面もあり、緊張と笑いに包まれ楽しい大道芸に触れることが出来ました。磐田市の若者が夢を追い続け、世界を視野に活動する姿には感動しました。

コロナ禍、外での解放感溢れる久しぶりの懇親会であり、大いに盛り上がるさよなら例会でした。

前年度大会計画委員長 L.戸塚邦彦

7月第一例会 7月7日(木)



新三役(江間会長、村松幹事、松田会計)



江間会長の所信表明演説



地区役員の委嘱状の伝達式

MC委員長
L.斉藤 伸

編集後記

世界的なパンデミックにより、ここ数年、多くの活動が自粛となってきました。少しずつですが、かつての環境に戻つつあるようですので、今年は多くの活動を行い、より多くの人にライオンズクラブに興味を持っていただけるようなPRをしていきたいと考えております。会員の皆様のご協力の程、宜しくお願い申し上げます。